

R2.2月 ピアサポ アンケートより

- ・ 1対1のQ&Aがひたすら続く進め方だと対面参加型で行う必要性がうすいかと思います。

(録画で良い。) 基本的に参加者の聞きたい質問を事前に集めた上で、回答者に聞いてよい質問から進めていただいた方が、より聞きたい回答が得られるように思いました。

(手元で見られるレジェメがあるとなお良い。お忙しいのでなかなか難しいと思いますが。)

- ・ 話の展開が見えない、障害と就学の関連が見えづらい内容。

また話者の方の障害におけるバックグラウンドが分からないままだと、話の論点がぼやけてしまい、特に普通以上に立派に話していらっしゃるのに、何が問題なのか もしくは一般にも言える問題ばかりだったように感じました。

参加が初めてなので、そう思っただけかもしれません。

- ・ 一人っ子の為、どうしても母子の距離が近くなりがちで、なんでも目につくので指示命令が多くなりがち。2人ともイライラして口論がしばしば。

主人は目に余ると介入してくれるが、基本的に仕事が多忙で家に居ないため、あまり頼れない。

また娘のLDの状態を伝えても障害を理解しようとするよりも、考えすぎ、自分も小さい時はそんなもんだった、など、あまり向き合わないため、自分の思いをシェア出来ない。

お忙しいのでなかなか難しいと思いますが、学習障害のある方の就活についても、機会があればききたいです。基本的に大学に入れるくらいの方なら、一般の人と同じスタートラインにはつきやすいので、それ以外のスタートラインにつきにくい場合のケースについて。

- ・ 「根拠」が必要ということが参考になった。ただお話してくれた方がとてもポジティブな方で、今回の例も成功例に感じたので、うちの子の場合には参考にならないかなと思った。

高校。続けるか転入しようか悩んでいる。転入のリスクが不感。

- ・ 今回は就労している、これから就労に向けて就活している当事者の方の話しがとても興味深かったです。
プログラミング的な思考は大人になって有効な考え方と知ることができて良かったです。
これから成長していき、思春期の年齢になった時の子供への対応が不安です。
 - ・ 理解力とか意識をする力はいつつくのかわからず個人差があると改めて思いました。
 - ・ 色々な人の考え方があるなと思った。
就職活動は、まだまだですが、とても貴重なお話がきけて良かった。
 - ・ 就労以外にも青年期に入った子らの考え、思いを聞いてよかった
 - ・ 大学入学にあたっての現状を伝え方と就職（本人は目標があるが達成は難しい職）に向けてどう考えていけばよいか
 - ・ 就職ということに関してはまだまだ先のことだと思ったのですが、「当事者」としてのお話をききたいなと思い参加させて頂きました。
「なんで」ときかれても何をきいているのかわからないというところが、親としてハッとなりました。
- 5.
- 特性のある子に、好きな事を見つけてあげる。みたいな事を良くいいますが、具体的に親はどうすればよいのでしょうか。親はいつもそう望んでいます。
就労支援、手帳取得の話がおききたいです。

